

安全データシート (SDS)

1 製品及び会社情報

製品の特長

製品の名称 セメダイン シリコンスプレー
製品分類 エアゾール 潤滑剤

会社情報

会社名 セメダイン株式会社
住 所 茨城県古河市下大野 2 1 8 4
担当部門 環境安全衛生部
電話番号 0 2 8 0 (9 2) 4 5 1 8
FAX番号 0 2 8 0 (9 2) 1 9 4 7
改訂日 2016年6月2日
SDS番号 GJ0785-10

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
健康に対する有害性
環境に対する有害性

可燃性・引火性エアゾール
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)

区分1
区分3(麻酔作用)
分類できない

GHSラベル要素

シンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
極めて可燃性／引火性の高いエアゾール
眠気やめまいのおそれ

注意書き

- 【予防策】 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
加圧容器: 使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。
裸火または高温の白熱体に噴霧しないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
スプレーの吸入を避けること。
- 【対応】 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 【保管】 直射日光を避け、涼しく喚起の良い場所に保管すること。
- 【廃棄】 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別:
含有成分及び含有量

混合物: シリコン系潤滑剤 (エアゾール剤)

成分名・化学名	含有率wt%	CAS No	化審法No.	安衛法No.	RTR法No.	毒劇法
シリコン(混合物)	0~10	非公開/未登録	非公開/未登録	非該当	非該当	非該当
パラフィン	10~20	非公開/未登録	2-10	非該当	非該当	非該当
液化石油ガス	70~90					
n-ブタン		106-97-8	(2)-4	該当	非該当	非該当
i-ブタン		75-28-5		該当	非該当	非該当
プロパン		74-98-6	(2)-3	非該当	非該当	非該当

国連分類
備考

国連番号: 1 9 5 0 クラス2.1 (引火性エアゾール)
P R T R該当物質含有はしていない。

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師を呼ぶこと。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに洗浄すること。 皮膚刺激があれば、医師の診察、手当てを求めること。 凍傷の恐れがあるので直ちに大量の水又は微温湯にて洗浄し、重い場合は医師の診察を受ける。
目に入った場合	水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	速やかに口をすすぎ、医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

特有の危険有害性	極めて引火性/可燃性の高いガス 火災に巻き込まれると、爆発的に重合するおそれがある。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災によって刺激性、又は毒性のガスを発生するおそれがある。
消火方法	引火性の高い液体及び蒸気 漏洩が安全に停止されない限り消火しないこと。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 ガスの滞留しない場所で風上より消火し、漏洩防止処置を施す。 消火活動は、有効に行える十分な距離から行う。 周辺設備等の輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。 漏洩部や安全装置に直接水をかけてはいけない。凍るおそれがある。
消火剤	消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 消火を目的とした水の使用は、危険性を増すので絶対に行わないでください。消火を行う場合には、専用の消火剤や消火設備を用いてください。 ABCまたはBC型粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、炭酸ガス、乾燥砂など。

6. 漏出時の措置

可燃性ガス及び引火性液体が噴出するので、火源を近付けないように注意する。漏れ出した場所の周辺にロープを張り、人の立ち入りを禁止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意	火気厳禁 炎、火花、高温体との接触、その他点火源となる恐れのある機械などの使用禁止。取扱いは、換気の良い場所で行い、状況によっては保護眼鏡、保護マスクを着用する。 本来の用途以外に使用しない。
保管上の注意	温度が40℃以上となる所に置かない事。 水周りに置かない事 幼児の手の届かないところに保管する事 容器は直射日光や火気を避けること。 容器を密閉して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度と許容濃度

	ブタン	プロパン	ノルマルパラフィン
管理濃度	未設定	未設定	未設定
日本産業衛生学会	500ppm	未設定	未設定
ACGIH (TLV-TWA)	800ppm	1000ppm	未設定

設備対策	静電気放電に対する予防措置を講ずること。 防爆仕様の局所排気を設置する。 洗眼設備を設置する。
保護具 呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。 状況に応じて、送気マスク、自給式空気呼吸器を着用する。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	適切な顔面用の保護具を着用すること。
衛生対策	休憩前や製品取扱い直後には手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

(製品 : エアゾール)

製品圧力(25℃) : 0.32 ± 0.05 Mpa
噴射性状(25℃) : 霧状

(内容物:原液成分)

	パラフィン	シリコーン(混合物)
外観	: 無色透明の液体	: 無色透明の液体
臭い	: 弱いパラフィン臭	: 無臭
引火点	: 53℃	: 194℃(開放式)
発火点	: 218℃	: データなし
燃焼又は爆発範囲－上限	: 5.5	: データなし
燃焼又は爆発範囲－下限	: 0.8	: データなし
沸点	: 169～173℃	: 35℃より高い
密度	: 0.734(15℃)	: 0.98
蒸気比重(空気=1)	: 4.9	: データなし
溶解性(水)	: 0.05(g/L 20℃)	: データなし
粘度	: 500mm ² /s(25℃)	: 7000 cSt

(噴射剤)

	プロパン	ノルマルブタン	イソブタン
融点	-189.7℃	-138℃	-160℃
沸点	-42℃	-0.5℃	-12℃
引火点	-104℃	-60℃	引火性ガス
燃焼範囲 (爆発範囲)	下限2.1% 上限9.5%	下限1.8% 上限8.4%	下限1.8% 上限8.4%
蒸気圧(40℃)	1.275Mpa	1.278Mpa	0.427Mpa
ガス比重(空気=1)	1.6	2.1	2.0
液比重(水=1)	0.5	0.6	0.6
溶解度(20℃)	0.007g / 100ml	0.0061g / 100ml	不溶
発火温度	450℃	287℃	460℃
分子量	44.1	58.1	58.1

10. 安定性及び反応性

安定性: 高温の表面、火花、裸火により発火。
危険有害反応可能性: 強酸化剤と激しく反応し、発火又は爆発の危険性がある。
避けるべき条件: 高温、火花、裸火、混触危険物質との接触。
混触危険物質: 強酸化剤。
危険有害な分解生成物: 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素。

11. 有害性情報

	ブタン	パラフィン	シリコーン(混合物)
急性毒性 経口 経皮 吸入 ガス 蒸気 粉塵、ミスト	GHSの定義による気体 GHSの定義による気体 :ラットLC50(4時間)値: 277374ppm (ACGIH (7th, 2001), DFGOT vol.20 (2003), PATTY (4th, 1994), 産衛学会勧 告(1993))に基づき、区分外とした。 :GHSの定義による気体 :GHSの定義による気体	LD50 >15g/kg ラット LC50 72,300mg/m3/2H	データなし
皮膚腐食性・刺激性	データなし	データなし	刺激なし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	データ不足のため分類できない。DFGOT vol.20 (2003)にウサギの眼を刺激しないとの記述があり、ヒトのガス暴露例に眼刺激性は報告されていないが、明確に有害性を否定する記述がないことから、データ不足のため分類できない。	データなし	直接接触すると、一時的な赤眼現象や不快感を生じる場合がある。
呼吸器感受性	(呼吸器感受性)データなし	データなし	データなし
皮膚感受性	(皮膚感受性)データなし	データなし	データなし
生殖細胞変異原性	細菌を用いる復帰突然変異試験で陰性の結果(DFGOT vol.20 (2003), PATTY (4th, 1994)、NTP DB (Access on Oct 2005))があるが、in vitro試験のデータしかないため分類できなかった。	データなし	データなし

発がん性	データなし	データなし	データなし
生殖毒性	データ不足のため分類できない。	データなし	データなし
特定標的臓器・全身毒	ACGIH (7th, 2001)、DFGOT vol.20 (2003)、PATTY (4th, 1994)および産衛学会勧告(1993)のヒトにおいて高濃度吸入で麻酔作用または中枢神経系抑制を示すとの記述から、麻酔作用があると考え、区分3とした。	データなし	データなし
特定標的臓器・全身毒	DFGOT vol.20 (2003)のラットを用いた反復吸入暴露試験(イソブタンやペンタンとの混合物)で毒性が認められなかったとの記述がある。一方、DFGOT vol.20 (2003)にヒトの麻酔目的での反復吸入暴露例の多くに多幸感および幻覚がみられたとの記述から、中枢神経系に影響する可能性もあるが、他に反復暴露で中枢神経系への影響を示唆するデータはなく、データ不足のため分類できない。	データなし	データなし
吸引性呼吸器有害性	GHSの定義による気体	データなし	データなし

12.

	ブタン	パラフィン	シリコーン(混合物)
水生環境急性有害性	データがなく分類できない。	データなし	データなし
水生環境慢性有害性	データがなく分類できない。	データなし	データなし

13. 廃棄上の注意:

廃棄の際は火気のない屋外で噴射音が消えるまでガスを抜いた後、市町村の条例に定められた廃棄方法に従ってください。

中身を密閉式の焼却炉で燃やすと爆発の危険性がありますので絶対に焼却しないでください。

中身を排水口や下水に流したり、山林や河川、海などの場所への不法投棄は絶対にしないでください。

14. 輸送上の注意

国内規制

陸上輸送	消防法ほか法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

国際規制

国連分類	クラス2.1(引火性エアゾール)
国連番号	1950

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器を40℃以下に保ち、転倒、落下並びに損傷がないように積み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	表示対象物質・・・ブタン、通知対象物質・・・ブタン
船舶安全法	危険物(高压ガス)
航空法	危険物(高压ガス)
高压ガス保安法	施行令(容器の「注意事項」の表示 エアゾール製品の品質管理)に従う。
消防法	第4類 第二石油類 非水溶性液体 危険等級Ⅲ
PRTR法	該当物質なし

16. その他の情報

注釈

本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改訂されることがあります。

記載内容は現時点で入手出来た資料や文献等の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、如何なる保証もなすものではありません。

全ての化学製品には、未知の危険性や有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。本書には通常の危険性や有害性について記載してありますが、記載内容以外の危険性や有害性が存在しないことは、保障出来ません。記載事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全策をご実施の上、取扱い願います。

引用文献

原料メーカー発行の製品安全データシート
安全衛生情報センター配信の製品安全データシート